

別記第2号様式（第3関係）

令和 4年度 主目標・重点事業・チーム目標設定状況報告書

所属名	ひまわりの丘第二学園	所属長名	村上 武雄 印
主目標	<p>利用者一人ひとりの個性を尊重し、行動障がいを伴う重度の知的障がい者が利用される施設として、個々の状況に応じたより質の高いサービス提供を行うとともに、地域ニーズに応える。</p>		
重点事業	<p>①個別支援計画に基づき利用者個々の行動特性に沿ったサービスをチームで共有し統一した支援を提供することにより、その人らしい生活が送れるように支援する。 ②1日3回のバイタルチェック等の実施により、利用者の発作や体調不良等の変化を早期発見し医療機関と連携して、早期治療に努める。 ③重度の知的障がい者とその家族が安心して在宅生活を送れるよう、短期入所、日中一時支援を積極的に受け入れ、地域ニーズに応える。</p>		
チーム目標〔企画経営担当〕（重点事業①）	<p>・施設の老朽化が進んでいる。よって、利用者の「安心・安全・笑顔」のため各所メンテナンス・保守を行い、その人らしい生活を送ることができる環境整備に努める。</p>		
チーム目標〔企画経営担当〕（重点事業③）	<p>・短期入所支援および日中一時支援のニーズに応えるため、安定した利用率確保を目指す。※短期…48%以上 日中一時…33%以上</p>		
チーム目標〔生活支援担当〕（重点事業①）	<p>・日常場面や行事等を通してひとり一人の行動特性やニーズに応じた楽しさや経験を提供し、「その人らしさ」を個別支援計画に反映する。</p>		
チーム目標〔生活支援担当〕（重点事業②）	<p>・ケアワーカーと看護師が密に連携をとり、利用者の体調管理を細やかに行うと共に、怪我や体調不良時には医療機関と連携して迅速に対応する。また、多様な場면을想定した緊急時対応訓練を毎月実施し、職員のスキルアップを図る。</p>		
チーム目標〔生活支援担当〕（重点事業③）	<p>・地域の社会資源として、重度知的障がいや行動障害のある利用者を積極的に受け入れる。また、困難ケースについては、適宜、計画相談担当機関等と連携し、サービス調整を図る。</p>		

※チーム目標の（ ）内には、「重点事業の①」などと、関連する事業名を記載すること。